
虚偽と真

maki0628

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

虚偽と真

【Nコード】

N0990BA

【作者名】

makio628

【あらすじ】

何もかもを捨てた25歳、めぐみが辿り着いた小さな部屋。

そこは究極に何も生み出さない、何も残らない空間だった。

何もかも飲み込むこの小さな部屋。

どんどん崩壊していく一方で彼女は自分自身への理解を深め、人を愛すようになる。

そしてまた自分の中での矛盾に気づいていく――

彼女の破壊衝動は彼女の一番の敵であり、盾であること。

プロローグ

もうやめて、誰か！誰か助けて……

メグミは自分自身が怖くて堪らなかった。

壊れていく？

いや、壊していく。

壊したい？

いや、壊わされるのが怖すぎるから、せめて自分の手で……壊せるものなんて元々ありもしないのに……

めぐみは故郷の田舎を離れ、誰一人自分を知らないココへきた。上京とかそんななんとなく希望の光に満ちた行動ではない。

きつと全然それとは逆の意味を含む行動。

敢えて言葉にするなら夜逃げが一番妥当なんじゃないかと思う。そうだ。

めぐみはあの日沢山のモノ（者）から逃げた。住んでいたアパートのドアを閉めて全力疾走で――

紅のベースに大きめな花柄のレトロな絨毯がひかれた螺旋階段の下、お客を待っていると

待合室と廊下を仕切っている少し厚手のカーテンのような仕切りからボーイがお客をこの階段の下に案内する。

「いらつしゃいませえ」

そこでチ力になる。

「宜しくね。」

お客は欲望を必死で隠し冷静を装ったように笑みを浮かべる。

その欲望をしつとり包み込むような眼差しでチ力はニツコリ笑って
みせ、腕を組み階段を上り

203号室

履物を扉の手前で脱ぐように言い、チ力は部屋に招き入れる。

めぐみが逃げ込んだこの小さな部屋。

究極の愛と孤独を生み続ける様に見えて何も生まない無の空間。

大半の男にとっては無かったことに出来る時間、不思議な異空間。
理性や、社会的地位などを全部書き捨てて

ただの男として限りなく雄になれる場所。

そしてチ力自身まつさらに相手と向き合える唯一の空間。

誰もつまらないことは訊かない。

ただ目の前にいる相手が心地よくあればいいのだから。

どうしてこうなったんだろう？

どうしてここにいるんだろう？

理由は簡単だ。もう壊せるものがないくらい最低で壊れてしまいた
い。

ただそれだけ。

きつと何もなくなつたときやつと安心するんだろう。平穩ってやつ
が訪れるんだろう（あるならね）。

セックスしながら想う。あの過ぎた日のことを。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0990ba/>

虚偽と真

2012年1月2日06時45分発行